

ひがしいず 議会だより

2026 No.325
10
月号

天下泰平・五穀豊穰を願う
子ども三番叟！

P12にて紹介

令和7年度各種決算審査・・・2～3
一般質問・・・6～8
ごみ堆肥化事業に関する特別委員会報告・・・10
かがやくまちのひと・・・12

議会HP



全会一致で決算を認定 事業の執行状況と適切な運営をチェック



第3回定例会で提出された令和7年度一般会計・特別会計の決算は、3日間にわたり審査した結果、以下の意見を付し、決算を認定しました。

議会選出の監査委員を除く9名の議員で構成する決算審査特別委員会に付託し、

提言1 職員の抜本的な処遇改善を



審査の中で、職員の正当な労働に対する町の対応に疑義と課題があった。

1 会計年度任用職員の運転手は、朝6時過ぎには出勤して安全点検等を行い、幼児・児童の送迎にあたっているが、時間外手当のほかに振替休暇で対応している。伊東市や下田市では、東海バスを活用して運転手と車両を確保し、1台約1,000万円で対応している。

2 ノックルの利用者が増えている。町民ボランティアの運転手確保が進んでおらず、利用者増加で運転業務は職員の負担となっている。

3 保健師の確保の取り組みでは、参加者から就職選択の重要事項に「給与」「職場の雰囲気」との声があり、給与面の見直しが課題となっている。

従来から町には、職員の処遇に対して「職員の給与は低くてよい」と言うような風潮があり、職員の処遇改善には本格的に取り組んでは来なかった。

しかし、そのことから専門職でも一般職でも職員への応募は減少し、退職者増加分を補填すら出来ていない。

町の機能を維持するため、職員の処遇改善に取り組まれない。

提言2 高齢化社会を迎えている現実に向かい合った対応

町の高齢化率は47.95%に達し、一人暮らしや高齢者夫婦のみの世帯も2,553世帯を占める。超高齢化社会において、町民が健康で安心して暮らせるよう、寄り添った支援体制の充実と新たな課題への積極的な対応を求める。



提言3 成果説明書の改善について

その他の項の記載が前年と全く同じ事業も見受けられた。また、空欄があるのに、実績や前年度との対比がない事業も見受けられた。事業を振り返り、事業をより良く改善していくことが必要である。

その他質疑の内容

【観光産業課】

Q インバウンド対策事業の具体的な内容は。

A 台湾・シンガポールへの現地セールスやファムトリップの招致、旅行商品のPR等を行った。

【水道会計事業】

Q 令和7年度の経営戦略策定にあたり、過去の事業計画等と比較した大きな相違点は。今後の水道料金見直しに向けた状況は。

A コロナ禍や浄水場問題など急な状況変更が生じたため、必要な経費を正確に算定したうえで令和7年度に経営戦略を作成した。新浄水場の建設や施設の修繕等で多額の経費を要する。現状のままで推移すると2～3年で資金が底をつく状況となるため、経営戦略上も水道料金の改定は必須であると示されている。今後審議会を開いて協議・提示を行っていく予定。

第3回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対

※議長は採決に加わらない

議案名	採決結果	山田豪彦	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	村木脩	内山慎一	定居利子	山田直志
緊急質問											
緊急質問1 令和8年度第5回入札会において入札中止になった3件について	否決(3:6)	×	○	○	○	－	×	×	×	×	×
緊急質問2 よりみち135会計年度任用職員募集について	否決(3:6)	×	○	○	○	－	×	×	×	×	×
補正予算											
議案第34号 令和8年度一般会計補正予算(第4号)	否決(0:9)	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×
議案第35号 令和8年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決(9:0)	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第36号 令和8年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決(9:0)	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第38号 令和8年度水道事業会計補正予算(第1号)	可決(9:0)	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第47号 令和8年度一般会計補正予算(第5号)	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第48号 令和8年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
決算審査											
議案第39号 令和7年度一般会計歳入歳出決算認定について	可決(7:1)	○	欠	○	○	－	○	○	×	○	○
議案第40号 令和7年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第41号 令和7年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第42号 令和7年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第43号 令和7年度稲取財産区特別会計歳入歳出決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第44号 令和7年度幼児教育アドバイザー共同設置事業特別会計歳入歳出決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第45号 令和7年度水道事業会計決算認定について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
意見書・発議・その他											
意見書第1号 「資本単価」などの条件なしに水道施設の耐震化への財政支援を求める意見書について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
発議第4号 情報公開に関する特別委員会の設置について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
議案第46号 財産の取得について	可決(8:0)	○	欠	○	○	－	○	○	○	○	○
陳情・請願											
請願第1号 情報公開条例の厳格な運用及び適正な公文書公開手続きの徹底に関する請願	可決(6:3)	○	○	○	○	－	○	×	×	×	○
陳情第1号 東伊豆町情報公開条例の厳格な運用及び適正な公文書開示手続きの徹底についての陳情書	可決(8:1)	○	○	○	○	－	○	×	○	○	○

一般会計補正予算(第4号)

否決

令和8年度一般会計補正予算(第4号)は全会一致で否決されました。
主要内容と反対討論の要旨を紹介します。

Pickup ① 学校教育環境整備に伴う進路整備事業

今後の学校教育環境の整備に伴って必要となる進路等について具体的な整備に向けた詳細設計を行う。(6月議会で可決済み)

2,630万円→2,720万円



笠井 政明 議員

6月に議決した事業を入札日直前に中止とした説明が議会にない。基本構想に不備があったとのことだが、構想が未確定のまま起債として増額補正を予算で計上するのは認められない。

※一般会計補正予算(第5号)にて計上を見送りました。

Pickup ② 地域観光対策事業 Pickup ③ 通学者支援給付金

雛のつるし飾りまつり30周年を記念して、静岡FM放送K-MIXの出張生放送誘致や放送内CM、日本の伝統的な華道流派草月流とのコラボ、イベント補助金などで雛のつるし飾りをアピールする。

700万円



山田 直志 議員

雛フェス30周年記念のイベント開催は理解するが、K-MIX放送でラジオ視聴者が観光地に来訪する行動につながるとは考えにくい。また、草月流とのコラボも観光振興に効果があるのか疑問。検討を重ね企画を具体化する必要がある。

観光産業課と協議を進め、企画については再度説明をいただき、一般会計補正予算(第5号)にて計上し可決しました。

町内に住民登録があり、自宅から通学もしくは通信制高校に在学している高校生がいる世帯に36,000円を給付。

630万円

町内在住の高校生世帯のみが対象では公平性に欠ける。高校生を持つ家庭の負担軽減のため町内在住の有無を問わず、制度設計を変更し一律にするべき。



楠山 節雄 議員

高校生世帯生活支援給付金として、高校生のいる全世帯に33,000円を支給。一般会計補正予算(第5号)にて計上し可決しました。



あらい まさみ 議員
笠井 政明



Q 行政DXにおける業務の見直しは

A 生成AIの導入で業務時間の削減効果があった

Q 紙の使用量や関連経費の現状は。

A A4コピー用紙は令和5年度181万枚から令和7年度153万枚へ減少。関連経費は年間約400万円規模で推移している。

Q 紙を使用している業務の電子化・簡素化・廃止等の観点から業務を見直す考えは。

A 令和7年度に勤怠管理・電子決済システム、8年度にAIを導入済み。今後も業務のスリム化・



行政DXを推進し、業務時間の削減へ

Q 電子化を進める。

A 会議資料、通知、決裁等について、電子データを原則とする運用への転換や、電子決裁・電子申請の利用拡大は。

A グループウェア「デスクネッツ」と文書管理システムで庁内のペーパーレス化を推進している。住民向け電子申請も段階的に拡充する方針。

Q 生成AI、RPA等を活用し、職員の業務時間削減効果を把握する考えは。

A 生成AI「エクサバース」を活用し、会議録や文書作成、翻訳などの効率化を進めている。導入後、4月から8月末まで職員全体約34日分の業務時間削減効果があった。今後は、紙の使用量や印刷関連経費、電子決裁率などを指標として整理し、目標値の設定を検討する。



やま だ 議員
山田 豪彦



Q 役場庁舎駐車場の今後の整備は

A 安全性、利便性の良い環境を考えていく

Q 立体駐車場1階に案内看板をつけ一方通行にしているかがか。

A 案内看板の設置、路面への矢印ペイント施工については、一方通行を含め来庁者のルール作りについて丁寧を検討する。

Q 正面玄関横の駐車場をスペースが狭いことから軽自動車専用にしてはいいかがか。

A 正面玄関までの距離が最も短い駐車場なので、高齢者や乳幼児連れ等の方々の利便性を損なう恐れがある。又、スペースも幅2.4m奥行5.0mになって



庁舎山側の駐車場

Q 令和6年度に男子トイレのウォッシュレット化及び手洗いの自動水洗化を、令和8年度には女子トイレの手洗いの自動洗浄化を実施した。照明のLED化については、国の交付金を活用して今年度中の実施に向け予算の確保を進めていたが、今回の整備は対象外だった為先送りしている状況。

Q 今後どのような整備を予定しているか。

A 現在、朝市運営委員会から意見、要望を伺っている。現地の状況を確認したうえで新たな財源確保を目指しながら整備の必要性を鑑みて前向きに取り組んでいく。

第3回 定例会 一般質問



一般質問

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をだし、所信の表明をもとめること。

楠山 節雄 議員

- 学校統合について
- 河津町との水道管連結について
- 白田川河川敷にある立木について

笠井 政明 議員

- 行政DXにおける業務改革とペーパーレス化について

山田 豪彦 議員

- 役場庁舎駐車場について
- 港の朝市会場の整備について
- 公園や校庭の遊具について

西塚 孝男 議員

- 子育て支援について
- 消防団について

山田 直志 議員

- 財政運営について
- 地域コミュニティの充実について
- 森林整備計画について

東伊豆町議会 YouTube チャンネル

Q どうなる統合校舎は

A 新築か既存建物活用かは決まっていない



統合の有力候補地の熱川中学校

Q 既存校舎を活用した下田市役所の視察を受け専門家2名の増員となったのか。

A 元々様々な分野の専門家は必要との認識の上、下田市の視察で説明を受け、有識者の必要性を改めて感じた。建築費の高騰の中で、最新の知見が必要で、有識者の参画が不可欠との判断に至った。

Q 多くの専門家がいる中なぜこの二人の選任に至ったのか。

A 候補者選定にあたっては文科省や県の建築士会等

Q 今後の基本計画、基本構想およびプロポーザルを通じ議論し有識者と一緒に考えていくことになるので決まっていない。補助事業については現時点での問題は無いが今後も県との連携を図り事業を進める。

Q 14年統合を目指すとの方針だが新築か既存建物活用かを最終判断するのはいつか。また建設にかかる補助事業を活用する場合の問題点は。

A 今後の基本計画、基本構想およびプロポーザルを通じ議論し有識者と一緒に考えていくことになるので決まっていない。補助事業については現時点での問題は無いが今後も県との連携を図り事業を進める。



くす まつ 議員
楠山 節雄



役場スタッフの就労環境について調査を継続

総務経済常任委員会では、近年退職者が増加している状況を踏まえ、役場の就労環境に関するオンラインアンケート調査を行いました。

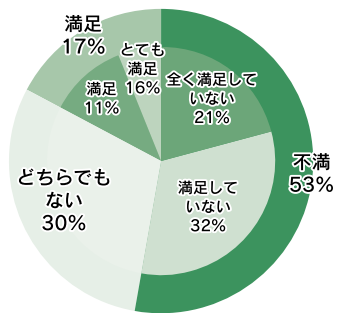


中間報告書

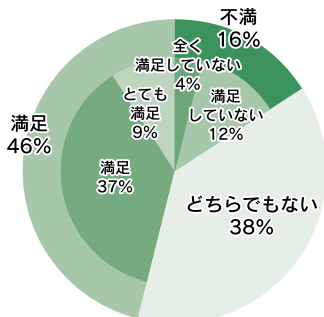
【調査概要（抜粋）】

東伊豆町役場に関わる全てのスタッフを対象にオンラインアンケートを実施し、81名の方から回答をいただきました。主な回答内容は以下の通りです。

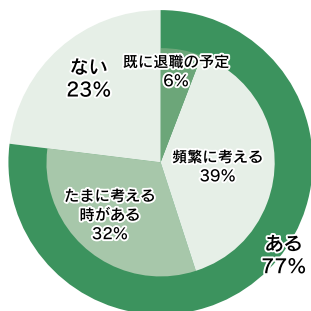
現在の職場環境にどの程度満足していますか（回答：79）



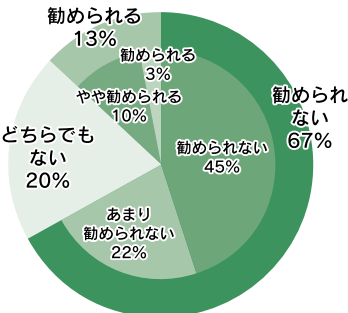
同僚との人間関係には満足していますか（回答：79）



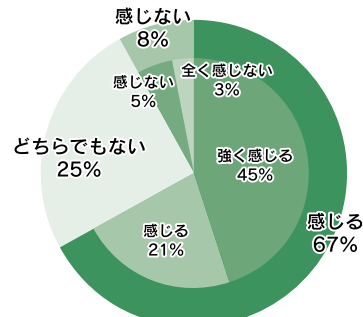
過去2年以内に退職を考えたことはありますか（回答：79）



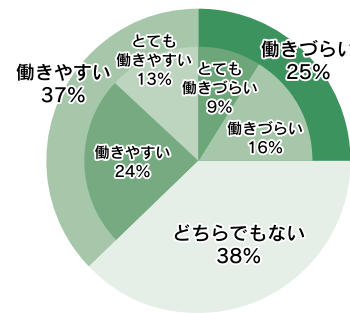
今の職場を他の方に「働きやすい職場」として勧めたいですか（回答：78）



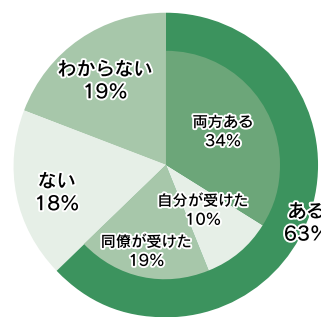
現在の体制について人員不足を感じていますか（回答：79）



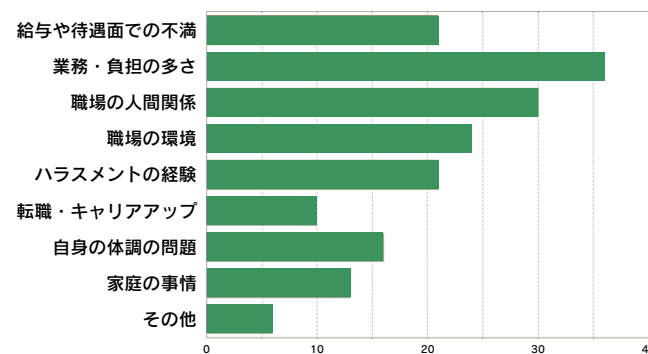
空調や照明等の環境面について働きやすいと感じていますか（回答：79）



パワーハラスメントを自分または同僚が受けたことがありますか（回答：79）



退職を考えた理由は（回答：62（複数回答あり））



上記以外にも自由記述を含め多くのご意見をいただきました。総務経済常任委員会では、本アンケートでいただいたご意見を踏まえ引き続き調査を行い、12月定例会を機に、よりよい就労環境の実現に向けた提言を行っていく予定です。

Q 0歳から2歳児の保育料負担は

A 最善の施策立案に向けて取り組んでいきたい



0～2歳児にも支援を

東伊豆町では子育て支援を重要な施策として掲げている。0歳から2歳児の保育料負担を子育て世帯の経済的負担としてどのように認識しているのか。なぜ0歳児から2歳児を無償化にしないのか。

A 子育て支援は東伊豆町まちづくり総合指針における重要な施策の柱の1つとして位置づけている。3歳から5歳児については国の制度により無償化が図られる一方、0

A 財政的な負担と、それに伴って子供の数が減った時に受け入れるだけの受け皿を同時に考えないと施策的には無駄が生じる。同時進行で考えることが必要。両方をしっかりと考えていきたい。

Q 人口減少で若者たちが子供を産みやすい環境を作る、若者の経済的負担を考えて検討すると言ったが、早く検討ではなく、実現に向けてやっていただきたい。

A 歳から2歳児の保育料や給食費は保護者に一定の負担が生じているのが現状。子育て環境の充実や人口減少対策の観点からも支援の拡充が極めて重要な課題であると捉えている。無償化に必要な財政負担額は39世帯分で見込んでおり、最善の施策立案に向けて取り組んでいきたい。



にしづか 孝男 議員



Q 外国人の方々との交流を深めては

A 交流の場と機会をつくることから検討したい



図書館での国際交流事業

Q 災害時に協力する団体を網羅した協議会・団体を作ることを検討してはどうか。

A 平時から関係団体が網羅的に参加する協議会は、災害時の情報共有や役割分担の明確化、さらには日常的な訓練や顔の見える関係づくりを推進する上で、非常に有意義な取り組みである。大規模災害時の負担軽減を図るため、社会福祉協議会等との更なる連携を図る

点では人的体制の不足、ボランティア人材の確保が十分でないことから、直ちに組織を設立するのはハードルが少し高い。まずは外国人の方々との交流の場と機会を作ることから始めていきたい。

Q 町内の外国人の方々の参加と交流などを進める仮称国際友好協会等を設立することは。

A 現在は町民のおよそ20人に1人が外国人住民であり、国籍も多様化している。既に当町の地域経済を支える大切な担い手であり、同時に生活を共にする住民である。団体の設立については、現時点では人的体制の不足、ボランティア人材の確保が十分でないことから、直ちに組織を設立するのはハードルが少し高い。まずは外国人の方々との交流の場と機会を作ることから始めていきたい。



やまだ なおし 議員



とともに、行政経験を持つ役場職員OBや医療従事経験者などのご協力をいただく新たな団体の立ち上げについて先進事例を参考にしながら検討することが必要。

議会に提出された陳情書及び 請願書を採択

議会で 請願・陳情を採択！



議会に提出された請願書1件、陳情書1件を採択し、担当課に送付並びに処理の経過及び結果の報告の請求を行いました。

その結果、今までの経緯や対応について回答を受け取りました。

情報公開に関する特別委員会の 設置を賛成多数で決定

請願書、陳情書の結果報告を受け、情報公開に関する事務手続きにおいて適切な運用を行っているか調査、確認が必要と感じたため、特別委員会の設置を求め、賛成多数で可決されました。

今後、特別委員会で調査を行います。



ごみ堆肥化事業に関する調査報告書を提出

ごみ堆肥化事業に関する特別委員会では、令和8年1月から行ってきた調査に関する報告書を作成、町に対し以下のような提言を行いました。

契約に至るまでの手続きや契約書に不備が多数みられた。一旦契約を解除し、あらためて適切な手続きを踏み検討することが適切

事業において業者を指導し管理運営するのは職員である。職員が事業に精通し、事業の管理運営能力を高めることが必要不可欠

再検討する場合、ごみ減量化計画の作成や生ごみ堆肥化事業を稲取地区から他地域へと広げる事も想定し検討を進めるべき



報告書はコチラ

【手続き及び契約書について】

当初の契約においては、堆肥製造機械の帰属、食品残さの計量方法などについて明記されていなかった。また、今回の契約は特命案件（特殊技術や特定事業者のみが持つノウハウが必要な場合行う随意契約）であるにも関わらず、それを裏付ける資料や協議した議事録等が存在しなかった。事業者選定の経過と基準・根拠及び評価については、委員会の求めに応じ提出された回答で一定理解できる部分もあるが、契約理由や選定の根拠を明確にし、議会や町民に説明する責任を果たせていない。

【生ごみの回収について】

本事業では、稲取旅館組合加盟9社の生ごみを町内の業者が回収し旧アスト会館に搬送していた。事業開始にあたり受託事業者が各施設を回り、分別の指導をしており、おおむね分別は適切に行われていたようである。しかし、当初生ごみの回収にかかる費用負担や本事業に参加協力している宿泊施設との協定などの文書は存在せず、あらためて6月10日の委員会に「食品残さ循環事業の実施に関する覚書」（案）が提出され、そこではじめて運搬費の町負担が存在することが明らかになった。

水道施設への財政支援を求める意見書を提出

文教厚生常任委員会では、水道施設の耐震化への財政支援を求める意見書を関係省庁に提出しました。

水道の基幹管路・浄水施設に対する耐震化補助金の条件をなくし、すべての自治体が活用できる施策に見直すこと

「一般会計出資債」を水道の基幹管路・浄水施設の整備に活用できるように見直すこと



報告書はコチラ

国は、東日本大震災などの災害の教訓から、基幹管路・浄水施設への耐震化の指導、及びこれら施設に対する補助制度の創設・拡充に取り組んでいます。

しかし町は、現在の国の水道施設へ財政支援については「資本単価が低い」（借金かまだ可能）などの条件があるため受けることができません。

先の熊本地震でも、水を被災者に届けるために大勢の支援者（公務員・ボランティア）を必要としました。また、医療、福祉・介護などの施設に水が届かないことからその機能がマヒして、被災地の復興への二重の足かせとなったこともあります。

こういった状況を改善するために、上記2項目の要望事項をとりまとめ意見書として提出しました。

令和8年10月20日発行

【発行】 東伊豆町議会
【責任者】 議長 栗原京子
【住所】 〒413-0411 静岡県賀茂郡東伊豆町桶取3354番地
【編集】 議会広報広聴委員会
【TEL・FAX】 0557(95) 6307

かがやく まちのひと

Vol.27

今回は稲取に伝わる無形伝統芸能「子ども三番叟」を子どもたちに教える師匠の代表である山田館さんのお話を伺いました。



師匠の山田館さん



練習風景

—今年のお祭り、ご苦労様でした。子ども三番叟の指導は何年目ですか。
21年目ですかね。コロナで3年抜かれていたから17年ぐらいですか。
—子ども三番叟というのは難しいところがあるのでは。
まあだけど歴史がそうなっているからね。多分、漁師の町で大人がいなくなっただけで子供が代役を果たしてきたんだと思います。
—20年子どもを見ていて、子供たちの変化とか何か感じる所は。
今だと余計に子供との



練習風景

接し方が難しいですよ。ハラスメントとか、心配をすることが増えて、色々な変化がある環境の中でののでちよつと難しくなっていますね。
—今年は演者を集めるのに苦労したと聞いています。そんな中で2年続けてやったという子供も出てきているようですが。
親がたまたま僕らの方へ参加してくれたことも理由ですけど、「来年もやりたい」と言って、続けてやっている子が2人いるんですよ。それで来年はその子がまたやりたい



八幡神社での披露

ということ、3人繰り上がってやるようになった。また、鼓の方もやった妹さんの仲間が3人やりたいたんていう話があった。まあ来年のメンバーは決まりつつあります。
—演者の集め方は変わっても続けていくことが町の伝統芸能ですね。
そうですね、いろいろ課題はありますが、皆さんのご理解とご支援をいただきながら続けていきたいですね。これからも子ども三番叟をよろしく願います。

議会広報広聴委員会

委員長	稲葉義仁
副委員長	笠井政明
委員	山田豪彦
委員	楠山節雄
委員	栗原京子
委員	山田直志

編集後記

今回の定例会では、一般会計補正予算が全会一致で否決された。また、情報公開請求への対応をめぐる請願と陳情が各々採択され、さらに否決とはなったものの、町政について確認を求める緊急質問2件が提出されるなど、緊張感のある議会となった。追認するだけでは議会としてのチェック機能を果たせず、批判することが目的となつては議会の役割を見失う。それぞれの立場や意見の違いを超えて、対立や分断ではなく対話と連携を求めていきたい。
お互いの考えを尊重し、より良い町の未来のために力を結集していきたい。
(栗原)